

■みどりのまち親愛(平成 31 年度事業計画)

平成 31 年度経営方針

資格者配置に基づく加算等の各種加算を最大限に活用するほか、利用率の向上と職員数の適正配置を進め、安定した経営を目指す。

ユニットケアが目指す「一人ひとりの自分らしい暮らし」に向けた支援が行えるよう、職員の育成に取り組む。また、寝具・食器の一部共用化による業務の効率化や、「24H シート」の活用を通じたユニット内の情報共有化を進める。

在宅サービスへの取り組みでは、福原地区福祉ネットワーク活動への参加を通し、地域社会との共生、地域における公益的な活動を実施していく。

人材不足解消に向け、年間を通して求人活動を行うとともに、離職防止についての取り組みを行っていく。

平成 31 年度取り組み

①利用者支援

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(時期・予算等)
ユニット費を活用した取り組みの継続	各ユニットの入居者の希望に沿った独自の取り組みを進めるため、ユニット費による活動を継続していく。経費の取り扱いについては、再検討し、年間計画を立て実施していく。	1 万円(月) * 5 ユニット * 12 か月 = 60 万円(年)
共生型サービスの導入準備	デイサービス利用者の地域ニーズへの対応として、共生型サービスの実施に向け関係機関と情報交換を進める。	

②人材育成

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
介護知識・技術を高めるため、外部研修への参加と施設内研修を行う	①キャリアパス制度に則し、職務に応じた研修の受講を進める。 ②ユニットケア推進のためユニットケア実施施設への現場職員の見学研修を実施していく。 ③内部研修については別に日程を設定し実施していく。	①外部研修費 ②施設見学研修費
資格取得についての取り組み	資格取得を推進するため、初任者研修、実務者研修受講者に対し、介護人材確保促進事業等の補助金の活用により、受講料の補助を行う。	

③施設設備管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
寝具リース内容の追加変更	寝具については、衛生面の課題や、個々のカバー類の洗濯、配布等の管理が煩雑であることから、	寝具リース契約 300 万

	他施設の取り組みを参考にリースを導入していく。	
食器の一部共有化	入居にあたり使い慣れた食器の持参を基本としてきたが、実態は入居時ホームセンター等で購入し持参する状況であることから、副菜の取り皿等については、共有の食器を導入し、配膳、洗浄、保管等の業務の効率を図る。	食器 50 万円
救急カート及びポンベ架台の購入	緊急時に必要となる機材等を、所定カートに準備しておき、迅速な対応を行う。	救急カート他 20 万円
パソコンの入れ替え	対応年数の過ぎたパソコンの入れ替えを行う。	リース

④危機管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
防災倉庫の設置	防災備品保管のため防災倉庫の設置を行う。	防災倉庫 50 万円
災害防止	①消防計画に基づき防災訓練を実施する。 ②災害時の職員安否確認方法を再検討し導入を図る。	安否確認システム費

⑤その他

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
人材確保・定着	①ハローワーク、求人情報企業を活用し年間を通し求人活動を行い、2 ユニット常勤職員 7 名の変則勤務体制を基本として、非常勤職員を含め 2 対 1 の職員配置を目指す。 ②夜勤、宿直専門の非常勤職員の導入を検討し勤務体制の改善を図る。	見積額 求人広告費用
腰痛予防の取り組み	①スライドボード、跳ね上げ式車いすを必要に応じ購入していく。また、介護ロボットの情報収集を行う。 ②外部講師による腰痛予防講座を開催する。	
地域における公益的な活動の実施	福原地区福祉ネットワークの活動に参加し、地域の福祉的課題に取り組む。必要に応じて子ども食堂、学習支援の取り組みを実施していく。	
稼働率管理等	介護老人福祉施設 95%、短期入所 80%、通所介護 75%を越える年間稼働率を目指す。	